

出前講座開催しました！

推進員がセンターの教材を使用して、環境講座を出前します！今号では、佐世保地区と長崎地区で開催された出前講座を紹介します。



温暖化防止の環を広げる H22.11.7

佐世保地区推進員 木下 和弥さん

「とのお市民プラザ開放デー」のさせぽエコプラザ会場にて出前講座を実施しました。温暖化の仕組みを教材を使ってわかりやすく説明したほか、木下さんの工夫で、環境ゲームも行い、楽しく学べる講座になりました。

市民との交流を深める H22.11.21

長崎地区推進員 吉田 寛重さん 中本 宏さん
松尾 維典さん

浜の町アーケードで開催された「ココロなっこフェスタ」にて出前講座を実施しました。たくさんの方がブースに足を止め、エネルギー消費量を比べる照明比較点灯や、手回し発電機などに関心を持っていました。

出前講座は下記の手順で申込みことができます。

地域からはじめよう！出前講座開催のご案内

みなさんの地域でも、「温暖化について詳しく知りたい」「家庭でも取り組める活動を紹介してほしい」といった要望がございましたら、地域の推進員に出前講座の開催を依頼することができます。楽しい環境教材に、子どもたちも大喜び！みなさんも環境講座を開いてみませんか？

出前講座開催までの流れ

- 1 出前講座開催申込み**
センターのホームページ (<http://nccca.jp>) より申込用紙をダウンロードできます。実施予定日の**1か月前**までに申込用紙をセンターへ提出して下さい。
- 2 センターから各推進員へ連絡・調整**
・講師料／**無料**
(講座に必要な材料等を用意していただく場合がございます。)
・講座の時間／原則午前10時～午後5時までの間90分以内
※ 曜日、時間等とはご相談ください。諸事情によりご希望に添えない場合がございますが、予めご了承ください。
- 3 出前講座の受付確定と実施**
出前講座申込み者へセンターから実施確定の連絡があり、当日推進員が伺います。

開催場所は
県内に
限ります！

教材は
ホームページで
ご覧ください！

ご不明な点は
センターへ
ご相談ください！



エコなが通信

発行月 / 平成22年12月 編集 / 長崎県地球温暖化防止活動推進センター 発行 / 長崎県未来環境推進課
〒850-8570 長崎市江戸町2-13 TEL / 095-895-2512 FAX / 095-895-2566

第10号

2010.12



エコなが通信

温暖化防止かわら版
<http://nccca.jp>

ながさき県エコフェスタ2010 会場レポート特集

ブライアン・バークガフニ先生講演
地域の推進員紹介



エコ

通信

温暖化防止かわら版
http://nccca.jp

発行月／平成22年12月

編集／長崎県地球温暖化
防止活動推進センター

発行／長崎県未来環境推進課

〒850-8570 長崎市江戸町 2-13

TEL / 095-895-2512

FAX / 095-895-2566

「地球温暖化防止活動推進センター」は、各都道府県に設置されており、長崎県センターもその中のひとつです。地球温暖化防止活動に関する「啓発・広報活動」「活動支援」「調査」などを行っており、その一環として、「エコなが通信」で情報を発信しています。

ながさき県エコフェスタ 2010 会場レポート特集

地球温暖化防止活動
① 推進員活動発表 3p

② 学生活動発表
③ トークセッション 4p

④ ブライアン・バークガフニ先生
基調講演 5p

⑤ 環境宣言 7p

地球環境保全ポスター展 8p

地域の推進員紹介 9p



クレヨンで絵を描いてオリジナルマイバッグ作成。

もったいない運動推進大会 地球温暖化防止活動推進員全体交流会合同イベント

ながさき県エコフェスタ2010 会場レポート特集

2010年12月4日(土)に「ながさき県エコフェスタ2010」が長崎市松が枝国際ターミナルで開催されました。「ここで見つかる!あなたのエコスタイル!いろんなエコが盛りだくさん!」というテーマで、学校や企業、各地域から様々なエコが集合。ステージ発表やブースなど、会場の様子をお伝えします!



2010年、家庭でのエコ活動は取り組みましたか。
エコフェスタで行われたクイズラリーの問題に
あなたも挑戦してみてください!

Q1 次のうち、最も消費電力が高いものはどれ?

1. 白熱電球
2. 電球形蛍光灯
3. LED電球

Q3 次のうち自然エネルギーではないものは?

1. 風力
2. 太陽光
3. 火力

Q2 徒歩や自転車、公共交通機関の利用を心掛ける日を何という?

1. エコカーデー
2. カーストップデー
3. ノーマイカーデー

Q4 家庭での消費電力量の割合が、最も高いものはどれ?

1. テレビ
2. エアコン
3. 冷蔵庫

出典：資源エネルギー庁
「平成16年度電力需給の概要」

(答えは、本文内にあるので見つけてくださいね。)

電動アシスト自転車の試乗体験。



ツシヤママネコも遊びに来てくれました。

1 地球温暖化防止活動 推進員活動発表

推進員は、普段どのような活動をしているのか、代表推進員が発表しました。

この島が好きだから！

壱岐地区地球温暖化防止活動推進員 代表 鵜瀬 守さん



▲ エコ活動を書いたエコツリー



▲ 段ボールコンポストに挑戦

壱岐地区の活動は、子どもたちの環境教育に重点をおいています。教育長、校長会に要望し、総合学習の時間を環境学習に活用しています。鵜瀬さんの活動理念は、「子どもたちのため、孫たちのため、未来のため、無理することなく負担にならないよう、自ら楽しみながら継続的に活動していくこと」。その言葉を表すように、実施しているガーデニング教室、環境学習会などでは、子どもたちの笑顔が溢れています。また、「地球温暖化防止推進活動は、まず否定するのではなく前向きに“何が出来るか”を協議し、行動・実践していくこと」と考えており、行政と学校、地域が一体となって活動することの重要性を発表しました。



鵜瀬 守さん

推進員同士が団結し行動する！

長崎地区地球温暖化防止活動推進員 代表 吉田 寛重さん

長崎地区では、長崎歴史文化博物館や浜の町アーケードなどで、環境学習会を開催しています。その回数は、今年だけで計6回。毎回事前に会議をして、本番に臨んでいます。そこで重要となるのが、推進員同士の団結力。今年から2か月に1度、活動報告をし、より良い学習会の実施を目指しています。また、推進員同士が顔を合わせることで、団結力・信頼感も高まり、活発な意見交換



吉田 寛重さん

ができます。その成果もあり、今では毎回大盛況の環境学習会を実施しています。吉田さんは「考えて次へ進むことが大事」と話し、様々な考えを持つ推進員が団結し行動することが大切だと結びました。



▲ 学習会には、地域の学童保育も参加



▲ 発表の際は長崎地区推進員が登壇

2 学生活動発表

取り組んでいるエコ活動を発表しました。堂々とした発表に長崎の環境に未来を感じました！

ながさき県
エコフェスタ
2010



長崎県立国見高等学校

高校版環境マネジメントシステムを導入し、学校全体でエコを実践。



長崎県立島原農業高等学校

社会動物部では、ヒツジ・ヤギを用いて、環境に優しい除草を目指している。



高校生・大学生環境会議実行委員会

県内外の高校、大学が連携し、会議を開き、エコ意識の向上を図っている。



つじゃすみん（長崎大学）

卒業生から不要な家具を回収・補修



ISOの家（長崎総合科学大学）

ISO14001を取得し、校内だけでなく学外でも活動を広げている。

積極的にエコ活動を実施している学生がたくさんいるよ！



3 トークセッション

「家庭のエコはオンナ目線で～環境コミュニケーションの環～」というテーマで、熱いトークが交わされました。

エコ活のキーワードは「愛・仲間・ネットワーク」

エコ活動をいかに広げ、継続するかということテーマに、4人のゲストにお話を伺いました。ゲストの田口さんは24年前に一人で活動を始め、今や会員114人の団体の会長。他の方々も各々に地域の企業や行政、学校とも連携し活動を行っているそうです。最後に、コーディネーターの松嶋さんから「エコ活動を広げ、継続するためのキーワードは？」との問いに「愛・仲間・ネットワーク」という言葉がゲストのみなさんから返ってきました。人と人のツナガリやコミュニケーションでエコの環も広がっていくということを感じたトークセッションでした。



（写真左から）

【コーディネーター】

松嶋 範行さん

（渋谷区都市整備部環境パートナーシップ担当 副参事）

【ゲスト】

田中 穂奈美さん（長崎県立島原農業高等学校 3年）

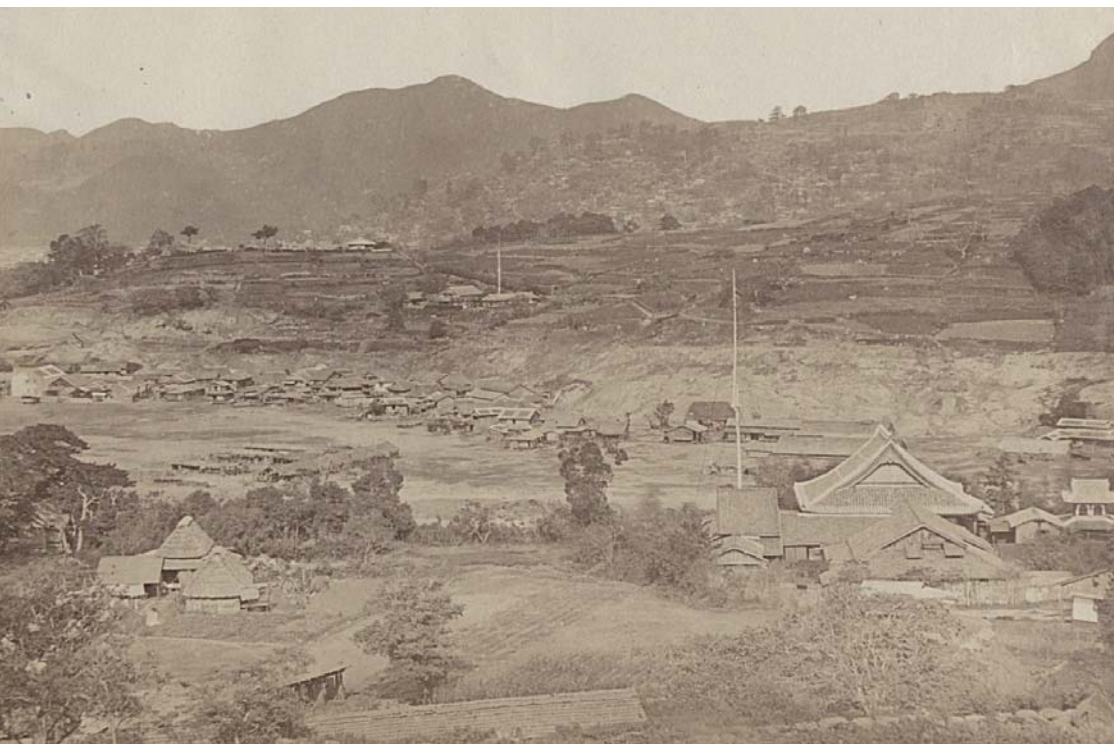
山本 了子さん（佐世保市学童保育指導員）

田口 昭子さん（環境美化を考える会 代表）

川原 みゆきさん（団体職員）

4 ブライアン・パークガフニ先生 基調講演

「龍馬の時代からみる長崎の歴史と環境をひもとく」というテーマでブライアン・パークガフニ先生にご講演をいただきました。残念ながら足を運べなかったみなさんのために講演の中身を一部紹介します。



▲1860年、長崎市東山手の風景

写真提供：ブライアン・パークガフニ先生

龍馬の時代に見るエネルギー事情

龍馬の時代の長崎はまさに時代の転換期。今回の講演ではその時代の古写真を見ながら長崎の歴史・文化とそれに通じる環境の話が語られた。その貴重な写真の一枚を紹介したい。

上の写真は1860年の長崎市の南山手から東山手方面を捉えた一枚。右手前に見える建物は現存する妙行寺の本堂である。龍馬は1864年に勝海舟に伴われて、初めて長崎を訪れているので、恐らくこの風景を見たに違いない。注目してほしいのは背景の山。

化石燃料を使っていなかった当時は、エネルギー源として薪を使用していたため、山に木がほとんどないことが分かる。「その時代のエネルギー事情によってまちの風景さえも変わってしまう」と先生は語る。今も昔も、生活の背景には必ずエネルギー源がある。それが現在は、目の前の森林資源ではなく、化石燃料に取って代わった。エネルギー源は変わっても資源は有限であるということに変わりはないのだと写真を通じよく理解できた。

古き良き日本の文化にエコを学ぶ

長崎市玉園町の聖福寺にある茶せん塚をご存知だろうか。私は先生の話で初めてその存在を知った。昔は、慣れ親しんだ道具に感謝してそれを処分する「道具供養」という習慣があり、茶せんも同様にその供養を茶せん塚で行っていた。消耗品である茶せんにさえも愛着をこめて、大切にしていたのだ。

このように日本文化にはものを大切にする心が元来あったのだ。先生は最後に「最新の環境技術を海外に求めることも大切だが、前へ前へ進むばかりではなく日本の伝統的な生活、龍馬の時代の生き方を知り、私たちの生活を見つめ直すことも大切。忙しさの中でなにもかもに利便性を求め、過剰に消費するのではなく自然への畏敬の念、感謝の念を持ち、ものを大切にするのがこれからの時代のキーワードだ」と来場者へ伝えた。

先生の話聞き、長崎のまちにグッと興味が湧いた。また、エコは特別なことをする



▲聖福寺の茶せん塚

ことではなく、昔の知恵や文化を知り、受け継ぐことに通じるのだと感じた。

「長崎市興善町の雑居ビルの一隅に小さな稲荷神社がある。その中へ顔を入れると江戸時代へタイムスリップできる」と先生が教えてくれた。

もうすぐ2011年、私も稲荷神社に頭を突っ込み、自分の生活を足元から見つめ直して新たな年を迎えようと思う。

(文 / 島田 福子)



▲エコフェスタでの講演の様子



ブライアン・パークガフニ
1950年カナダ・ウィネベグ生まれ。
1982年から長崎に在住。現在は、
長崎総合科学大学 環境・建築学
部の学部長、グラバー園名誉園長
など、多方面で活躍している。

5 環境宣言

会場には、レインボープランの中から、取り組みやすい10個の環境宣言を掲示して、来場者にシールを貼ってもらいました。

ながさき県
エコフェスタ
2010



長崎県ストップ温暖化 レインボープランとは

県民、関係団体、行政等が「長崎県地球温暖化対策協議会」を設立し、地球温暖化防止のための具体的な取り組みの方向及び行動について意見を出し合い、各主体がパートナーシップを旨としながら主体的に
取り組む行動を宣言した計画です。



来場者は、これからできることを
宣言シールを貼ってアピール！
トップ3に輝いた宣言は？

- 1.「こまめに節電を実践します！」
- 2.「マイバッグやふろしきを利用します！」
- 3.「近い所は、歩いてまたは自転車で移動します！」

エコフェスタ来場者に聞きました。 「今取り組んでいるエコ活動」



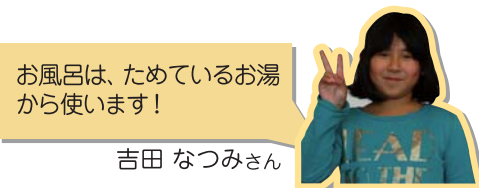
使っていない部屋の
電気は、消します！

吉田 まなみさん



こまめにコンセントを
抜きます！

倉崎 耀琉くん



お風呂は、ためているお湯
から使います！

吉田 なつみさん

買い物は、エコバッグを
使っています！

中島 汐理さん



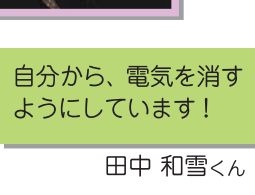
エコドライブを心掛けて
います！

石橋 美和子さん



使用した箱を、工作づくり
に再利用しています！

南里 康介くん



自分から、電気を消す
ようにしています！

田中 和雪くん



「ながさき県エコフェスタ 2010」にご来場いただいた皆様、ありがとうございました。
来年も、開催予定ですので、ぜひお越しください。また、エコフェスタの様子はセンター
のホームページにも掲載していますので、そちらもご覧ください。

nccca 長崎 検索

地球環境保全ポスター展

長崎県美術館 [11月16日～21日]
佐世保市博物館島瀬美術センター
[12月2日～5日]の日程で開催されました。

長崎県では、地球温暖化をはじめとする環境問題に対する小中学生の関心を高め、環境保全に関する意識向上のきっかけとなることを目的として地球環境保全ポスターの募集を行いました。小学生は、昨年より118名多い629名、中学生は42名多い927名の応募がありました。今回は家庭で実践できる環境保全を訴えるポスターが多く、来場者は、子どもたちの真剣なメッセージに惹きつけられている様子でした。



▲ 長崎県美術館での展示の様子

小・中学生 最優秀賞作品



南島原市立野田小学校
5年 岩永 千聖さん



佐世保市立日宇中学校
2年 喜々津 光さん

審査会講評の抜粋

年々、表現技術が優れている作品が多くなっている。選ばれた作品は、アイデアを形にし、何を伝えたいかははっきりしていた。/ 温暖化を止めるためには、まずは、身近なことから始めることが第1歩だというメッセージを伝えようという工夫が感じられた。/ 細かい部分まで集中して、絵を描いている様子も伝わってくる作品だ。

カレンダープレゼント

ポスター入賞作品を掲載した特製長崎エコカレンダーを抽選で10名様にプレゼント！
応募は下記内容をご記入のうえ、ファックスまたはメール、ハガキで送付してください。

【記入内容】

住所、氏名、年齢、取り組んでいるエコ活動、エコなが通信の感想
※締め切り…2011年1月31日消印有効

※抽選結果はプレゼントの発送により代えさせていただきます。
※住所、氏名は他の用途では使用しません。

【申込み先】

nccca 長崎県地球温暖化防止活動推進センター

〒850-0035 長崎県長崎市元船町17番1号

財団法人 ながさき地域政策研究所 内「カレンダープレゼント」係

TEL / 095-820-4868 FAX / 020-4623-5633

E-mail / info@nccca.jp ホームページ : http://nccca.jp



2=40 8=80 8=20 1=10 / 2=80 2=40 2=80

地域の推進員紹介

長崎県から委嘱された推進員は県内に101名。
温暖化防止のために熱心に活動しています。

講演会や出前講座開催のご相談はセンターへお気軽にお問い合わせください。あなたの町の推進員をよろしくお願いします。

推進員が何う出前講座
開催の詳細はウラ表紙
をご覧ください

五島地区 嶋里 豊子さん



【活動対象】

幼稚園、小学生、一般

【活動内容】

環境問題とエコおやつづくりなど、楽しく学べる講座「エコであそぼう」を実施。トライアスロン大会では、レース翌日に選手と住民が交流しながらゴミ拾いを実施。

【関心ある温暖化のテーマ】

暮らしの中でのエコライフ
食品営業者にできる温暖化防止

【自己PR】

子どもエコクラブのサポーターを8年行い、その後に推進員となりました。健康な地球を未来へ引き継ぐために、出来ることから取り組んでいます。いつも、笑顔のある楽しい活動をしています。



▲ エコおやつ「パンミミ・ショコラ」を作りました。

西彼地区 田窪 幸男さん



【活動対象】

学校、自治会、各種サークル、一般

【活動内容】

出前講座や環境学習会、街頭キャンペーンで、温暖化防止の啓発活動。地域住民に広く呼び掛けての川や港の清掃（ごみ拾い）。

【関心ある温暖化のテーマ】

自然エネルギーと持続可能な循環型社会。ソーラーパネルで走るEVで、充電なしに日本の名所旧跡を訪ねるのが夢!!

【自己PR】

現在の生活スタイルを大幅に変えることなく“楽（らく）してCO2を減らす方法”を模索しながら推進員活動を行っています。何でも楽しんで思いが叶うほど甘くはありません。



▲ 小学校での出前講座。みんな真剣に聞いています。

県央地区 善能寺 正美さん



【活動対象】

未就学児、小学生、保護者、大人

【活動内容】

身近な野草の「ミニ生け花」教室を実施。TOSS 理科企画「わくわくずかん」をプレゼント。

【関心ある温暖化のテーマ】

宮脇昭方式による密植混植の植樹。身近な生物に親しむことで生物多様性の保護を促しています。

【自己PR】

Flash で作ったエネルギー教育のコンテンツを、TOSS 長崎 ML で検討してもらい、TOSS ランドにアップしています。

※TOSS(Teacher's Organization of Skill Sharing)とは授業・教育にすぐに役立つ教育技術・指導法を開発し、集め、互いに自らの授業の技術を高め、教育技術・指導法自体もより良いものにしようと努める教師の団体です。



▲ 身近な植物が載っている図鑑を手にする子どもたち。

県南地区 浦田 美保さん



【活動対象】

小学生とその保護者、婦人会など

【活動内容】

環境教育の一環として、地元の小学4年生と、その保護者を対象に、EM廃油せっけんづくりを指導。

【関心ある温暖化のテーマ】

ものを大切にして、ごみの出ないまちづくり

【自己PR】

4Rを意識し、まずは、家庭でできることから実践していこうと考えています。特に力を入れているのは「ごみ減量化」です。15種類のごみの分別や生ごみ処理（EM活用）、マイバッグ持参などを心掛けています。



▲ 廃油せっけんの作り方を教えています。